情報のプロはこう読む！新聞の正しい読み方（第1回）

新聞、読めていますか？（上）

2018.07.26

みなさんは、「新聞」の読み方をご存じでしょうか。

あえてこんな失礼なことを聞いてみたのには訳があります。最近、新聞の読者層が急速に広がっているにもかかわらず、その「正しい読み方」についての情報が圧倒的に不足しているのではないか、と思ったからです。

「新聞が読まれるようになった」などと言うと、驚く人が多いでしょう。私は2014年10月まで日本経済新聞の記者をしていたのですが、こう言うと元同僚でさえ「えっ？」という顔をします。無理もありません。近年、新聞離れが加速している、というのが記者たちの間では「定説」になっているからです。

日本新聞協会によると、2017年までの10年間で、一般紙の発行部数は820万部減りました（概数、以下同）。これは朝日新聞と産経新聞が発行する朝刊の合計（764万部）を大幅に上回る部数です。

減少のスピードも10年前と比べて加速しており、2016年からの1年間だけで105万部も減りました。これは規模から言えば毎年、北海道新聞、河北新報、中国新聞、西日本新聞といった大手の地方紙1～2社分が消えていっているイメージです。

しかし、発行部数や定期購読者の減少は、「読者の減少」「影響力の低下」と必ずしもイコールではありません。新聞記事は紙媒体だけでなく、急速に普及し続けているネットでも配信されているからです。

そう、実はネットの普及によって、私たちが新聞記事を読む機会はむしろ増えている可能性が高いのです。

ネット情報の多くは実は新聞… 続きを読む